



医療薬学・社会連携センター  
社会薬学部門 専任講師

小林 典子

コバヤシ ノリコ

Senior Assistant Professor  
Division of Social Pharmacy  
Center for Social Pharmacy and Pharmaceutical Care Sciences

KOBAYASHI Noriko

社会薬学／セルフメディケーション／  
social pharmacy／self-medication／

## 研究概要

社会薬学では現代社会の抱える様々な問題を取り上げています。薬の問題に関する社会の動きをとらえ、歴史的背景と経過、現在の動向などを調査、研究をすることにより、薬局薬剤師の機能として必要なことは何かを伝えていくことを目的としています。一方で、セルフメディケーションの推進など、社会のニーズに応えるためには、薬学教育にも目を向ける必要があります。研究は文献調査、調査票調査、インタビュー調査、フィールドワークなど、様々な手法を用いながら進めています。現在、取り組んでいる研究は以下の通りです。

- ・リフィル処方箋導入に関する研究  
反復使用可能なリフィル処方箋導入に向けた薬局、薬剤師の意識について質問紙調査を実施し、課題の明確化を行っています。
- ・小児における医薬品誤飲に関する研究  
小児の医薬品誤飲につながる家庭の環境について聞き取り調査を行っています。特に、別居の祖父母が、時々来る孫に対してどのようにリスクを認識しているか検討しています。
- ・セルフメディケーションに関する薬学生の教育に関する研究  
セルフメディケーション推進に向けて社会的ニーズが高いにもかかわらず、OTC薬販売やセルフメディケーションに関しては実務実習での体験が難しいと言われてしています。  
実務実習を終えた5年生の調査では、実務実習前の4年生の実習に実践的な内容を取り入れて、充実化を求める意見が多くあります。本研究では、実務実習を終えた学生の意見を基に現場での体験をふまえた実践的な実習を構築することを目指しています。



実習内容についての話し合い



4年生事前学習  
(セルフメディケーション実習)

In social pharmacy, we take up various problems of modern society. It is important to look at a lot of information on drug problems, social trends and to communicate what is needed as a function of the pharmacy. In order to respond to the needs of society, such as promotion of self-medication, it is necessary to focus on pharmaceutical education. Research is carried out using various methods such as literature search, questionnaire survey, interview, field work and so on. Current research is as follows.

- ・ Research on the introduction of refill prescription  
Conduct questionnaire survey on pharmacies and pharmacists towards the introduction of repeatable refill prescriptions and clarify tasks.
- ・ Research on the pharmaceutical accidental ingestion in children  
Interview about the environment of the family that leads to misdirection of drugs in children. Especially, grandparents who are living separately are investigating how they perceive the accidental ingestion risk of grandchildren who come occasionally.
- ・ Research on pharmaceutical education on self-medication  
Despite the high social needs for promoting self-medication, it is difficult to experience self-medication in practical training. Based on the opinions of students who completed practical training, we aim to build hands-on pre-training based on the experience at the worksite.

### 主な論文

鈴木 小夜, 青野 いづみ, 今井 奈津美, 桑原 亜記, 釧田 侑希, 松元 美奈子, 吉田 彩, 渡邊 明日香, 高木 彰紀, 小林 典子, 佐伯 晴子, 大谷 壽一, 中村 智徳, 木津 純子, 学生のニーズに基づき学生主体で構築した新たなアドバンスト服薬指導事前実習の実施とその評価, YAKUGAKU ZASSHI 2017;137(11):1391-1408.

釧田 侑希, 門田 佳子, 鈴木 小夜, 青森 達, 小林 典子, 高木 彰紀, 手塚 淑人, 大谷 壽一, 中村 智徳, OTC薬実習の問題点とその改善のための提案, 医療薬学, 40(2), 117-123, (2014)